

2011年3月期決算説明会

# 京成グループ中期経営計画 「E1プラン」の進捗状況について



2011年5月19日  
京成電鉄株式会社

## 目次



### 「E1プラン」(2011年3月期～2013年3月期)の進捗状況

1. E1プラン数値計画達成目標との比較 ……P1
2. 東日本大震災の影響 ……P3
3. 鉄道事業の進捗状況 ……P4
4. バス・タクシー事業の進捗状況 ……P9
5. 流通業の進捗状況 ……P10
6. 不動産業の進捗状況 ……P11

	2011年3月期 実績	2012年3月期 予想	E1プラン目標 2013年3月期
営業利益 (営業利益率)	204億円 (8.6%)	164億円 (7.0%)	230億円以上 (9%以上)
経常利益	209億円	—	220億円以上
有利子負債残高 (EBITDA倍率)	4,203億円 (9.9倍)	4,139億円 (10.6倍)	4,100億円以下 (9倍以下)

※ EBITDA倍率＝有利子負債残高 ÷ (営業利益 + 減価償却費)  
 なお、有利子負債残高にはリース債務を含みます。

(注)2012年3月期の業績予想のうち、経常利益については、持分法適用会社である株式会社  
 オリエンタルランドの業績予想の算定が困難なため開示しておりません。  
 なお、同社の業績予想が算定され次第発表いたします。

## 配当予想

### <配当方針>

- ・当社は鉄道事業を中心とする公共性の高い業種でありますので、今後の事業展開と経営基盤の強化安定に必要な内部留保資金の確保や業績等を勘案しながら、安定的かつ継続的に利益還元していくことを基本方針としています。

### <配当予想>

- ・2011年3月期については、当初予想通り、5円50銭(期末3円)の配当を実施予定。
- ・2012年3月期については、5円の配当を実施予定。

(参考) 配当推移

	2008年3月期	2009年3月期	2010年3月期	2011年3月期	2012年3月期 (予想)
一株当たり 配当金(年間)	5.5円	5.5円	6.0円	5.5円	5.0円
うち、特別 ・記念配当	0.5円 (特別配当)	0.5円 (特別配当)	1.0円 (創立100周年 記念配当)	0.5円 (特別配当)	—

- 千葉県内の鉄道施設、東京湾臨海部、茨城県等の一部施設において被災
  - － 鉄道事業において節電臨時ダイヤによる運行  
基本ダイヤとの比較(車両キロ)  
[平日・土休日共] 終日(平均):通常の約9割、日中:約8割での運行

## ＜鉄道事業＞

- ・一部施設に被害が出たが、震災翌日より運行開始
- ・電力供給不足に対応するため、4月4日より当分の間、節電臨時ダイヤで運行

## ＜バス事業＞

- ・緊急支援バス(千葉・東京東部地区～仙台間)を3月18日から5月10日まで運行(3往復/日)
- ・東京ディズニーリゾート発着高速バスは、震災以降運休するも、TDRの営業再開にあわせ順次運行再開

## ＜タクシー事業＞

- ・一部会社において、計画停電により無線配車不能の時間帯が発生するも、全社営業を継続

## ＜流通業＞

- ・水戸京成百貨店で一部施設被害が出たが、3月中に全フロアの営業を再開

## ＜不動産業＞

- ・水戸地区、成田地区の一部賃貸施設に建物損傷等の被害があったが、応急対応済み

## ＜レジャー・サービス業＞

- ・茨城県内のホテル、ロープウェー等の施設で、数日間休業

## ◇ 2011年3月期への影響額

災害損失(特別損失) 連結: 1,636 百万円  
単体: 1,400 百万円 京成本線 ユーカリが丘～臼井間 施設復旧費 他

3

# 鉄道事業の進捗状況(1)

## ◇ 成田スカイアクセスの開業(2010年7月17日)

### 新型スカイライナーの運行開始

成田スカイアクセス開業により、スカイライナー全列車を同線経由で、最高時速160km運転を行い、日暮里～空港第2ビル間を最速36分で運行  
運行本数: 下り26本、上り28本、計54本(従来比13本(32%)増加)

### アクセス特急の新設

成田空港と羽田空港を直結する一般特急「アクセス特急」を新設し、成田スカイアクセス経由で運行(一部、上野、西馬込等発着)  
運行本数: 下り26本、上り25本、計51本

### シティライナーの新設

京成本線の有料特急として「シティライナー」を新設し、日中時間帯を中心に運行  
運行本数: 上下各7本、計14本

### 金町線の高砂駅高架化(専用ホーム新設)に伴う増発

新ホーム完成により高砂～金町間での折返運転開始(2010年7月5日)  
運行本数: 平日上下各89本、計178本(従来比18本(11%)増加)

4

## ◇営業施策の実施

### 駅ナンバリングを導入(2010年7月)

外国人に向けた案内拡充を含むユニバーサルデザインとして、全駅に導入

### 「銀聯(ぎんれん)カード」決済サービスを導入(2010年10月)

上野駅・日暮里駅・空港第2ビル駅・成田空港駅において、スカイライナー・シティライナー券決済での取扱開始 (鉄道事業者ではJR北海道に次ぎ全国で2番目の導入)

### 韓国国内におけるスカイライナー券販売開始(2010年11月)

韓国の大手旅行代理店において、スカイライナー券(乗車券付引換券)を販売開始

### 「2010年度グッドデザイン賞」受賞(2010年9月)

受賞対象: 新型スカイライナー(AE形)

事業プロデューサー: 京成電鉄(株)、日本車輛製造(株)、東急車輛製造(株)

デザイナー: (株)寛齋スーパースタジオ 山本寛齋氏

### 「第9回日本鉄道賞」受賞(2010年10月)

受賞対象: 成田スカイアクセス『JAPAN SPEED 日本の空港アクセスを世界クラスへ』

京成電鉄(株)、成田高速鉄道アクセス(株)、(独)鉄道建設・運輸施設整備支援機構の連名受賞

### 「2010年日経優秀製品・サービス賞 優秀賞 日経産業新聞賞」受賞(2011年1月)

受賞対象: 新高速鉄道「成田スカイアクセス」

## ◇当社鉄道事業 運輸成績(2011年3月期)

### 空港発着輸送人員・旅客運輸収入

- ・空港発着輸送人員は、前期比217千人(+1.5%)増加
- ・空港発着旅客運輸収入は、前期比2,101百万円(+21.4%)増加
- ・輸送人員全体に占める空港発着輸送人員の割合は5.6%(前期比+0.1pt)
- ・旅客運輸収入全体に占める空港発着旅客運輸収入の割合は22.8%(前期比+3.1pt)

(単位: 千人、百万円、%)

	2011年3月期 実績	2010年3月期 実績	増減	増減率	2011年3月期 前回予想	増減	増減率
輸送人員計	14,434	14,217	217	1.5	15,257	△ 823	△ 5.4
旅客運輸収入計	11,939	9,838	2,101	21.4	12,571	△ 631	△ 5.0

### 有料特急輸送人員・料金収入

- ・有料特急輸送人員は、前期比319千人(+8.6%)増加
- ・有料特急料金収入は、前期比943百万円(+36.7%)増加

(単位: 千人、百万円、%)

	2011年3月期 実績	2010年3月期 実績	増減	増減率	2011年3月期 前回予想	増減	増減率
輸送人員計	4,033	3,714	319	8.6	4,341	△ 308	△ 7.1
特急料金収入計	3,518	2,574	943	36.7	3,801	△ 283	△ 7.5

※有料特急の数値には空港発着以外の乗降が含まれています。

輸送人員: 千人未満を四捨五入して表示しております。

旅客運輸収入: 百万円未満を切り捨てて表示しております。

## ◇成田空港出発旅客数におけるシェア

成田スカイアクセス開業後の成田空港の出発旅客における鉄道利用者の割合は44.4%、そのうち当社線利用者は26.2%で、2007年より3.9pt上昇

	2010年	2007年	増減
鉄道の占める割合(%)	44.4	40.4	4.0 pt
京成電鉄	<b>26.2</b>	<b>22.3</b>	<b>3.9 pt</b>
有料特急	10.8	7.9	2.9 pt
有料特急以外	15.4	14.5	0.9 pt
JR	<b>18.2</b>	<b>18.0</b>	<b>0.2 pt</b>
NEX	14.3	12.7	1.6 pt
NEX以外	3.9	5.3	△ 1.4 pt

(注)本資料は、成田国際空港(株)が2010年10月29日にリリースした「成田国際空港アクセス交通実態調査」を元に、当社が作成

## ◇成田空港発着枠の拡大

平行滑走路の2,500m化による年間発着枠の拡大 (2010年3月)

2009年度末 20万回 → 22万回 (現行)

年間発着枠30万回の合意 (2010年10月)

四者協議会(国、千葉県、成田空港周辺9市町及び成田国際空港(株))において、千葉県及び9市町は、年間発着枠22万回を30万回まで拡大することについて了承し、『容量拡大(30万回)に係る確認書』を締結

成田空港発着枠の拡大の見通し

2011年度中 22万回 → 25万回 (+3万回)

2012年度中 25万回 → 27万回 (+2万回)

最速で2014年度中 27万回 → 30万回 (+3万回、累計+8万回)

## < バス事業 >

### ◇高速バス路線の拡充

#### 『マイタウン・ダイレクトバス』の拡充

郊外住宅地から直接都心へ乗り入れる通勤等路線「マイタウン・ダイレクトバス」  
新規2路線の開設

〔第3弾〕 ユーカリが丘～東京駅（2010年9月）

〔第4弾〕 成東・八街・千城台～東京駅（2010年9月）

### ◇地域公共交通活性化法の活用

#### 千葉市幕張地区の連節バス『シーガル幕張』運行に適用

2011年3月までに、新型連節バス「シーガル幕張」を15両導入

#### 江戸川区環七シャトルバス『シャトル☆セブン』運行に適用

2010年7月、100便/日→120便/日に増便

2011年3月までに、新型専用車両（ハイブリッドバス）6両導入

## < タクシー事業 >

### ◇資本の集中

#### 帝都自動車交通(株)

株式交換による完全子会社化（2011年2月）

### ◇事業の再編

#### かずさ交通(株)

木更津市、君津市を地盤とする、富士見タクシー・君津タクシーを統合（2011年3月）

9

# 流通業の進捗状況

## < ストア業 >

### リブレ京成店舗 スクラップアンドビルドの継続実施

- ・グループバス会社の本社営業所跡地に「ミナーレ本千葉店」開店（2010年4月）  
スーパーマーケット計28店舗に
- ・有名デザイン事務所起用による、店舗リニューアルの実施（2010年9月）

### コンビニエンスストア ファミリーマートと包括業務提携契約締結（2010年4月）

- ・京成線・北総線沿線の16店舗について、2010年8月までに、  
am/pm からファミリーマートへのブランド転換完了
- ・ファミリーマート本部直営の2店舗（葛飾区、市川市）の営業を承継（2011年3月）  
コンビニエンスストア計18店舗に

## < ショッピングセンター業 >

### ユアエルム八千代台店リニューアル（2010年4月）

- ・テナントミックスの最適化（新規テナント15店、既存店リニューアル13店）

### ユアエルム青戸店「PASMO電子マネーサービス」の取扱開始（2011年3月）

## ◇グループ資産の有効活用

市街地にあるバス・タクシー営業所等を郊外へ移転し、跡地を有効活用  
周辺環境に応じて、賃貸開発、住宅開発を計画・実施

## ◇賃貸開発 : 安定的収益源となる賃貸資産の拡充

2010年度

- |            |                          |
|------------|--------------------------|
| ・リブレ京成店舗   | 【千葉市中央区】(2010年4月稼働)      |
| ・有料老人ホーム   | 【千葉市緑区】(2011年2月収益物件を取得)  |
| ・学生向け賃貸施設① | 【北区豊島】(2011年3月稼働)        |
| ・学生向け賃貸施設② | 【習志野市谷津】(2011年3月稼働)      |
| ・賃貸型保育施設   | 【船橋市大神宮下駅高架下】(2011年3月稼働) |

2011年度

- |            |                      |
|------------|----------------------|
| ・有料老人ホーム   | 【千葉市中央区】(2011年5月稼働)  |
| ・浅草ビジネスホテル | 【台東区浅草】(2012年3月稼働予定) |

## ◇住宅開発 : 沿線活性化に寄与するマンションの分譲

販売総戸数

- |                   |  |
|-------------------|--|
| ・サングランデ千葉みなと      | 143戸【千葉市中央区】(2010年2月竣工)                |
| ・サングランデ印西牧の原ドアシティ | 400戸【印西市】(2010年8月(D棟)~2012年8月(A棟)竣工予定) |
| ・サングランデ亀有 親水公園    | 41戸【葛飾区亀有】(2012年3月竣工予定)                |
| ・公津の杜マンション計画      | 206戸【成田市公津の杜】(2012年度竣工予定)              |

11

本資料の情報のうち、過去の事実以外のものは将来の見通しであり、リスクや不確実性を含んだものです。  
実際には、様々な要因により異なる結果となる場合があることをご承知おきください。